

☆ 1 ^{じしょう}治承・寿永の内乱(源平の争乱)と鎌倉政権の成立は同時並行

[1] 平氏の衰退 と 鎌倉政権の発足

2 1180. 3 **以仁王** (後白河の皇子)、平氏追討の 4 ^{りょうじ}令旨(皇太子の命令) を発する

5 **源頼政** と共に挙兵→宇治(平等院)で敗死

清盛、6 **福原**(現 神戸市)への遷都を強行 …→年末には京に戻す

伊豆で 7 **源 頼朝** 挙兵→ 8 **石橋山の戦**で大敗→ 9 **鎌倉**(頼義ゆかりの地)へ

※鎌倉…三方を山に囲まれ7カ所の 10 **切り通し** 中央に若宮大路、北辺に 11 ^{つるがおかはちまんぐう}鶴岡八幡宮
→千葉・土肥・三浦氏など東国武士が結集→ 12 **御家人**(頼朝の家人)として組織

13 **富士川の戦**に圧勝 → **鎌倉政権** 14 **侍所** 設置…御家人の統率 ※頼朝上京せず

15 ^{しげひら}平重衡、**南都焼討ち**(東大寺も焼失) ※木曾で 16 **源義仲**も挙兵

1181. 高倉上皇没、清盛没 →平氏の棟梁は 17 **宗盛** 後白河の復讐

※1181~82. 18 **養和の大飢饉** (西日本)で争乱は中断

[2] 19 **源義仲** の活躍 と 鎌倉政権の公認

1183. 義仲、20 ^{くりから となみやま}俱利伽羅峠(砺波山)の戦に圧勝 →平氏(安徳天皇を連れて)都落ち

→ 21 後鳥羽天皇即位、22 **後白河院**が実権を握る

義仲入京(翌年に征夷大將軍) →徐々に人望を失う→後白河は頼朝に期待

鎌倉政権 1183. 後白河、23 **頼朝**の東国支配権を承認(寿永二年十月 ^{せんじ}宣旨)

…頼朝は流人身分から脱却 **鎌倉政権**が公認される

[3] 24 **源義経** の活躍 と 鎌倉政権の基礎確立

1184. 頼朝、25 **源義経**・26 ^{のりより}範頼らを派遣→義仲を倒す→入京、院の信任→平氏追討へ

→ 27 **一の谷の戦**(例:『^{ひよどりごえ さかおと}鴨越の逆落し』)、熊谷直実と平敦盛に勝利

鎌倉政権 1184. 28 **公文所** (財政・一般政務)・29 **問注所** (訴訟事務)設置

30 1185. 31 **屋島の戦**(「^{なすのよいち}那須与一の『扇的』」)→ 32 **壇の浦の戦**→平家滅亡(安徳も入水)

[4] 頼朝・義経の対立 と 鎌倉政権の全国進出

1185. 後白河院、(義経に対して) 33 **頼朝追討の院宣**→義経敗走…奥州へ潜伏(34 **藤原秀衡**が保護)

→後白河院、(頼朝に対して) 35 **義経追討の院宣**

鎌倉政権 36 1185. 37 **守護** ・ 38 **地頭** 設置… 39 **大江広元**(公文所別当)の建言

…初期には「惣追捕使」「国地頭」とも呼ばれた

京に 40 **京都守護**、九州に 41 **鎮西奉行** を設置

※朝廷内に^{ぎそうくぎょう}42議奏公卿を設置…⁴³藤原(九条)兼実 (日記「^{ぎよくよう}44玉葉」)ら親幕府派

[5] 奥州藤原氏滅亡 と 鎌倉政権の奥州制圧

1189. 藤原秀衡没→その子⁴⁵泰衡、義経を殺害 →頼朝、⁴⁶奥州藤原氏を滅亡(⁴⁷奥州合戦)

鎌倉政権 1189. ⁴⁸奥州総奉行 設置

[6] 鎌倉政権の確立 ☆頼朝、⁴⁹九条兼実(1186年摂政→1191年関白)らと協力

鎌倉政権 ⁵⁰1190. 頼朝上洛、⁵¹右大将 (⁵²右近衛大将) 就任→すぐ辞任、鎌倉へ帰還

1191. 公文所を⁵³政所 と改称 ←…………… ※1185年説あり

⁵⁴1192. 後白河院没→頼朝 ⁵⁵征夷大將軍に…鎌倉幕府の確立

※ 鎌倉幕府の成立には諸説あり

<例>1183年の東国支配権獲得 ……政権の公認(正当化)

1185年の諸国への守護・地頭設置…支配の拡大

1190年の右近衛大將就任 ……(常設)武官の最高位 ※近衛大將の居館を「幕府」と呼ぶ

1192年の征夷大將軍就任 ……(臨時も含めた)武官の最高職。

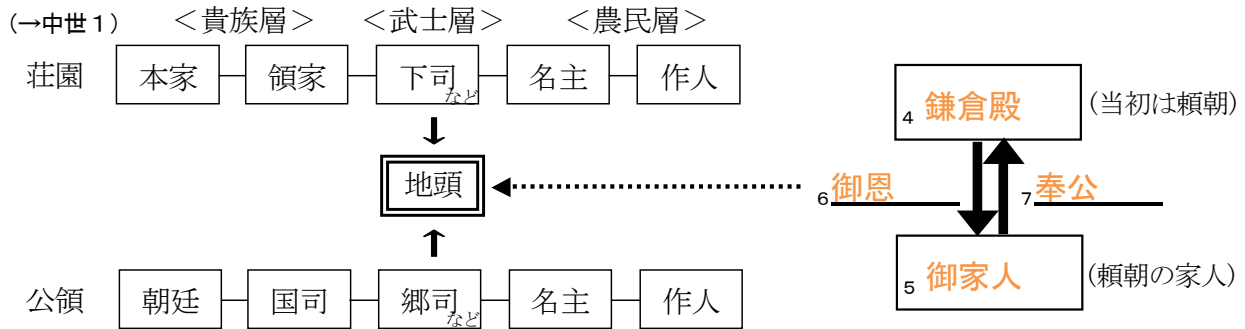
正誤問題練習 <大学入試センター1995年本試験、91年本試験>

①安徳天皇を奉じて都落ちした平家一門は、源頼朝の派遣した軍勢に攻められ、讃岐の屋島で滅亡した。

②源頼朝は後白河法皇の死後、征夷大將軍に任命された。○

封建的主従関係

1封建制度…2土地の供与を介して結ばれる主従関係 守護・地頭の設置により確立
 ……実際には3地頭(職)補任の形をとるのが通常



御恩

- a. 8 **本領安堵** …先祖伝来の所領の支配を幕府が保障
- b. 9 **新恩給与** …功績に応じて新しい所領を授与
- c. 律令の官職への推挙

” 10 **一所懸命** ”
の社会

奉公

- a. 11 **軍役**…戦時、合戦への参加 “12いざ鎌倉”
- b. 13 **関東御公事**…幕府・内裏などの修造負担
- c. 14 **番役**…平時、要地の警護 交替制

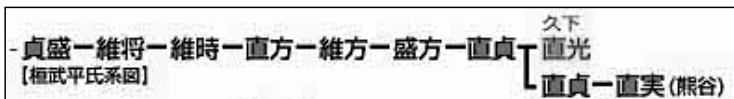
15 **京都大番役** …皇居・京都の警護 諸国の御家人が半年交替 守護が督促
 16 **鎌倉番役** …幕府への奉仕 東国の御家人から

注意 ①地頭は荘官…所領からの年貢のうち、これまで通りの決められた額を、

荘園領主(公領ならば国司)に納める→残りが収入

②幕府の権限の弱い地域では、御家人でも地頭になれない(下司のままの場合)もある。

③17地頭の**任免権**は**幕府**…荘園領主の自由にできない→地位の安定

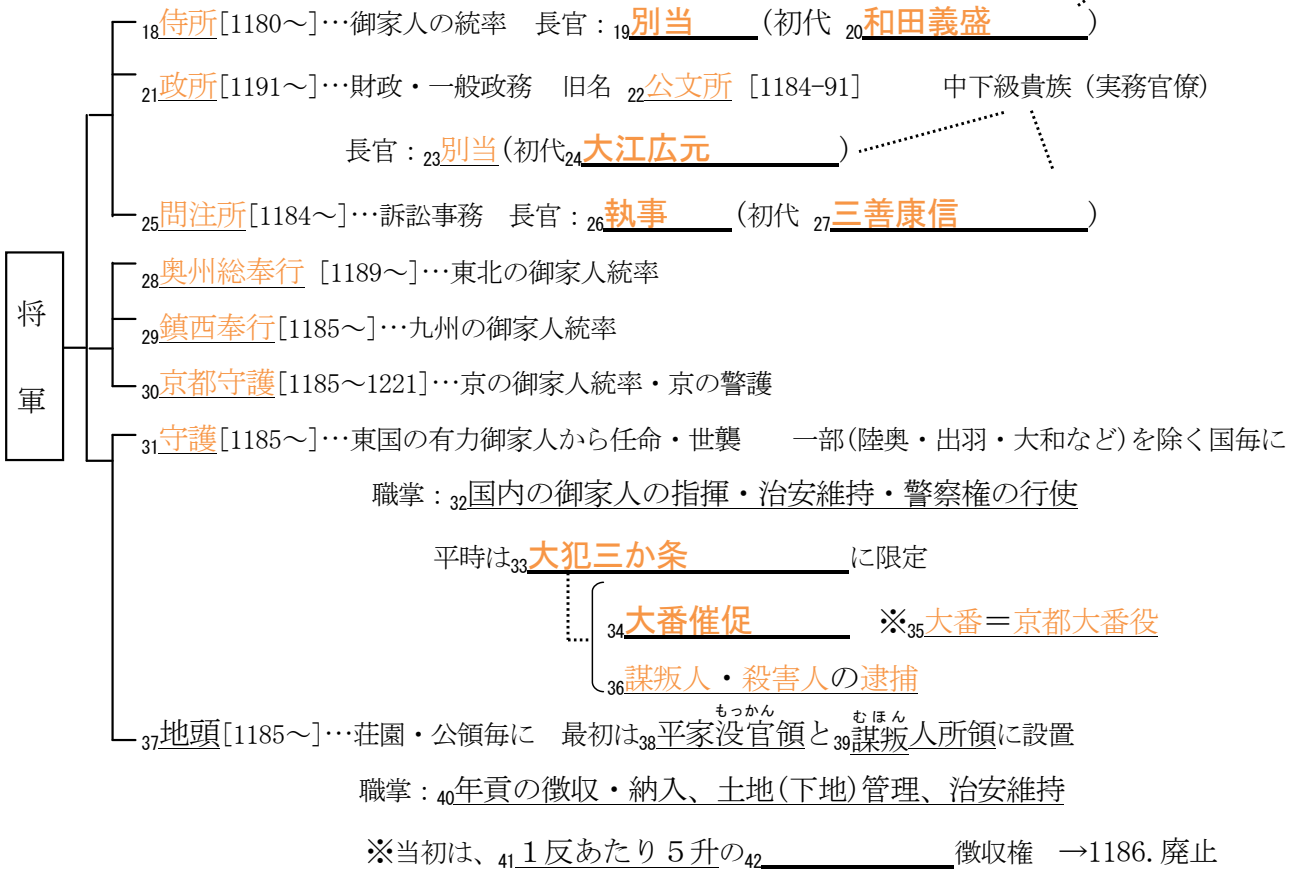


1192年、(熊谷直実は)過去の経緯から不仲だった久下直光の久下郷と熊谷郷の境界争いが続いており、ついに頼朝の面前で、両者の口頭弁論が行われることになった。武勇には優れていても口べたな直実は、頼朝の質問に上手く答えることが出来ず(略)、証拠書類を投げ捨てて座を立つと、刀を抜いて髻(もどり)を切り、私宅にも帰らず逐電(ちくでん)してしまい、頼朝があつけにとられたという(『吾妻鏡』)。<Wikipediaより>

初期の鎌倉幕府

機構

(1200年頃) [特色] 将軍独裁的体制 有力御家人



☆議奏公卿(朝廷の役職)…10名 朝幕関係の調整 <例> 43 九条(藤原)兼実、44 源通親

経済基盤

- a. 45 **関東御領** …将軍家の荘園 約500箇所 平家没官領など
- b. 46 **関東御分国** …将軍家の知行国 最多時で9か国

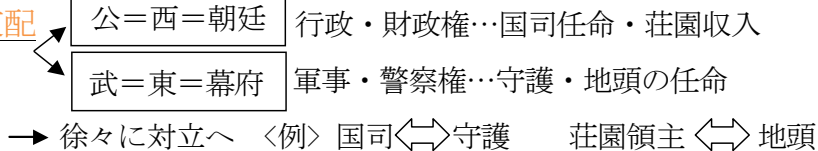
☆地頭が設置されている荘園(関東御領・関東進止所領・関東御口入地)も広い意味では財源

特色と問題点

①鎌倉政権の二面性

- ↳ 在地武士団の政権 <例>地頭への任命→所領支配を保障 (幕府の許可なく罷免できない)
- ↳ 貴族政権的性格 <例>頼朝自身が荘園領主・知行国主 娘(大姫)の入内を計画

② 47 **公武二元支配**



正誤問題練習

<大学入試センター1996年追試験、94年本試験>

- ①御家人の訴訟は問注所が、**貴族の訴訟は政所が判決を下した。**
- ②大犯三か条は、**地頭や守護の権限や特権について規定している。**

北条氏の台頭 ※₁北条氏…伊豆国北条出身の小豪族 頼朝の正妻(₂**北条政子**)の一族として頭角

將軍 頼朝急死[1199]→幕府動揺→政子が將軍(息子など)を後見(「**尼將軍**」)

3 頼家 2代(1199~1203) 頼朝の長男(17才)

→有力者₄十三人の合議制…₅**北条時政**(政子の父)、₆**比企能員**(頼家の乳母父)
和田義盛、三浦義澄、梶原景時[1200滅亡]、大江広元、三善康信 ら

→₇比企能員滅亡(比企の乱)[1203] →時政、頼家を伊豆₈修禪寺に幽閉→暗殺[1204]

9 実朝 3代(1203~19) 頼朝の次男(11才) ₁₀**右大臣**[1219] 北条氏が台頭

₁₁**北条時政**…大江広元と並んで₁₂政所別当に就任(1203)→以後「₁₃**執権**」と呼ばれる

₁₄畠山重忠を滅亡 平賀朝雅(源氏出身で時政の娘婿)を実朝のかわりに將軍に擁立→失敗[1205]

₁₅**北条義時**…時政の子 姉(政子)と協力、父を失脚させる→政所別当に就任

₂₀和田義盛を滅亡(₂₁和田合戦)[1213]→義時、₂₂侍所別当も兼任 ☆以後北条氏が独占

₂₃1219. 頼家の遺児 ₂₄**公暁**、実朝を暗殺(右大臣拝賀の日) 鶴岡八幡宮

↳直後に₂₅三浦義村に殺される → 源氏の正統は滅亡

京の情勢

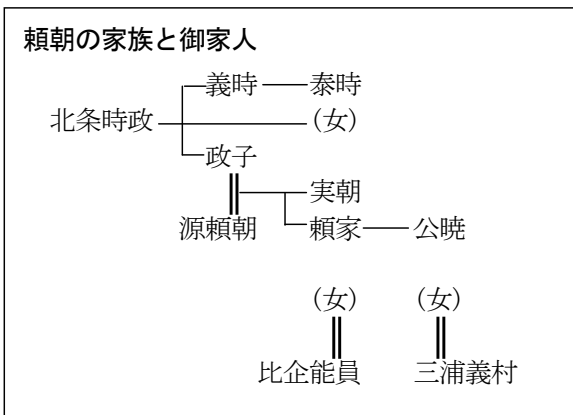
₂₆**後鳥羽 上皇** [院政 1198~1221] ※当初は実朝に接近→暗殺後は武力倒幕を画策

皇室領荘園の結集(財源確保)、寺社勢力や西国武士などを結集、₂₇**西面の武士**を新設

1219. 幕府は上皇の皇子を4代將軍に希望→上皇はこれを拒否

上皇、摂津国長江荘・倉橋荘の地頭の罷免を要求→幕府はこれを拒否

※関白九条兼実の曾孫(&頼朝の妹の曾孫_{みとら}三寅(2才)が將軍として鎌倉へ…後の₂₈**九条(藤原)頼経**



正誤問題練習 <大学入試センター1996年本試験、1991年本試験>

- ①北条**政子**は、父の北条時政とはかって、將軍**実朝**を廃し有力御家人による合議制を進めた。
- ②承久の乱後、幕府は後鳥羽上皇らを配流し、京都守護に代えて六波羅探題を設置して、朝廷を監視させた。○

承久の乱とその後

29 1221. 30 **承久** の乱

朝廷 31 **北条義時** 追討の **宣旨**・**院宣** を出して諸国に号令

幕府 32 **尼将軍政子** の演説…幕府の存在意義(御家人の地位の安定や負担の軽減)を力説
→御家人の結束 →約1カ月で幕府方の圧倒的勝利

戦後処理 ① 3 **上皇** の配流と 33 **仲恭** **天皇** の廃位

… 34 **後鳥羽** → 35 **隠岐**、36 **順徳** → 37 **佐渡**、38 **土御門** → 39 **土佐** (のち阿波)

② 40 **六波羅探題** 設置[1221] ←×京都守護

職掌: 41 **尾張** (のち三河) 以西の御家人の統率・京都の警備と監視

初代: 42 **北条泰時** (北方)・43 **北条時房** (南方) →以後、北条氏が世襲

③ 上皇方所領の没収 (44 約 3000 箇所)

→多数の地頭の任命…45 **新補地頭** ※従来の地頭を46 **本補地頭** という

☆47 **新補率法** [1223]…地頭の得分(給与)を法定 前例がない場合に適用

(a) 48 1 1 町につき 1 町の免田(給田)

(b) 49 1 反につき 5 升の50 **加徴米** (c) 51 山川からの収益の半分

結果 ① 公武二元支配の変化…武(幕府)が優位に

<例>幕府が皇位継承にも介入…後鳥羽の系統でない後堀河天皇→四条天皇

52 **大田文** (土地台帳。凶田帳とも)作成を命令[1223] …本来は国司の業務

② 幕府の支配領域の拡大…畿内・西国にも ※多くの関東御家人が西国へ